

阿蘇市初の大臣誕生！

まつおか としかつ

松岡利勝氏が農林水産大臣に就任

9月26日、新内閣発足に伴い、行政の各分野で指揮をとる閣僚も新たに決定しました。その閣僚の一人に阿蘇市三久保出身の松岡利勝氏（61歳）が農林水産大臣として入閣されました。
阿蘇地域で初の大臣誕生です。松岡氏にこれからの抱負をお聞きしましたのでご紹介します。

阿蘇市の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のこととお慶びいたします。
このたびの農林水産大臣就任に際し、ひと言「抱負」を述べさせていただきます。

今、日本の農業、また阿蘇の農業もそうですが、人口の減少と需要の減少、供給の過剰、その上に輸入の増加によって、農産物の価格が低迷するなど、大変厳しい状況にあります。しかしながら、私は、日本の農業には、必ず大きな未来が開けると考えております。

それは、日本で生産される農産物は、世界中のどこにも負けない味や品質を有しており、この武器を生かせば、農産物が一大輸出産業となることも夢ではないと考えられるからです。

私は、この強い武器を生かした農産物の輸出促進の取り組みを強力に進めてまいります。

もう一つは、バイオマスの生産です。地球温暖化への対応やエネルギー確保のため、農業には大きな期待が寄せられています。バイオマスの生産を、これからの農業の大きな役割の一つとして大きく発展させるよう、積極的に取り組んでまいります。

さらに、日本の農業の体質を強くするため、どんな零細な農家の方でも、集落ぐるみで大きくまとまれば、担い手となることができるようにしました。そのための政策が品目横断的経営安定対策です。これにより、生産性がアップし、所得も増やせることとなります。

私は、これらの取り組みをしっかりと進めていくことにより、世界に冠たる農業が実現できると確信しており、何としてもこれを成し遂げたいと考えております。

阿蘇には、あか牛や米、野菜など、味や品質において優れた農産品がたくさんあります。皆さん方には、ぜひ、そのことに、自信と誇りをもってこれからも取り組んでいただきたいと思います。

バレーボールで親睦を！



阿蘇市民42チームが熱戦

第2回阿蘇市民スポーツ大会が10月22日、阿蘇体育館で開催され、ソフトバレーに13チーム、ミニバレーに29チームが出演。優勝を目指し体育館は一日中歓声が響きました。結果は次のとおりです。

<ソフトバレーの部>

- 優勝 ボンバーズ3
- 準優勝 一の宮クラブC
- 3位 インパル
- 4位 一の宮クラブB

<ミニバレーの部>

- 優勝 MMC - A
- 準優勝 ホワイトエンジェルス
- 3位 古城愛好会B
- 4位 古城愛好会C



ボンバーズ3



MMC・A

熊本県文化財功労者表彰

文化財保護委員会副委員長 嘉悦涉さんが受賞



10月6日、熊本県文化財保護大会が人吉市で開催され、阿蘇市から嘉悦涉さん(古神1区)が熊本県文化財功労者として表彰されました。この大会は、熊本県における文化財の保護・活用等に顕著な功績があった個人等を表彰し、文化の向上に資することを目的としたもので、今年で35回目を迎えます。

嘉悦さんは、一の宮町史編纂事務局長として、一の宮町史の編著作業で中心的な役割を果たされ、郷土の歴史の解明に尽力されました。平成14年から文化財保護委員を務め、また、生涯学習活動や観光ボランティアなどを通じて文化財保護活動に取り組み、今回の受賞となりました。

「くまもとふるさと食の名人」に井手キミ子さん

阿蘇市内で6人目の名人誕生

地域の食文化を伝承する「くまもとふるさと食の名人」の平成18年度認定委員会が10月6日、熊本市で開催され、阿蘇地域振興局の推薦を受け出場した井手キミ子さん(上井手)が名人に認定されました。

認定会には県内から29人が出場。自慢の手料理が料理研究家などにより審査されました。井手さんは『馬肉の揚げぎょうざ』を出品。「おやつにも酒の肴にもなる」「冷めても美味しい」など高い評価を受けました。また、潮谷県知事から「ぜひ、商品化しては」と審査の感想をいただきました。井手さんは農業で培った知識や技術を生かし生活研究グループをはじめ幅広く「食」の分野で活躍されており、今後も名人として伝統料理の普及活動に取り組みられます。



『馬肉の揚げぎょうざ』
馬肉、ジャガイモ、にんじん、ピーマンの順に炒め、焼肉のたれ・豆板醬で味付け。餃子の皮で包み揚げる。ぼん酢やドレッシングでいただく。

「阿蘇いちご」県内トップをきり出荷始まる

甘い香りと味、ともに最高です！

阿蘇の特産である糖度たっぷりの『阿蘇いちご』の出荷がいよいよ始まりました。10月16日、JA阿蘇集荷場(狩尾)に、嶋野武輝さん(小野田町)栽培のいちごが運び込まれ、県内トップをきって出荷されました。阿蘇地域でいちごの栽培が始まったのは約28年前。現在、阿蘇中部いちご部会(渡邊利幸部会長ほか69戸)が14.4ヘクタールに作付けされています。今年度は長期間収穫できる品種「さがほのか」が作付け全体の7割を占め、これから来年6月いっぱいまで出荷が続きます。お問い合わせはJA阿蘇集荷場32-3604及び、一の宮選果場22-3942まで。



梅雨時期に襲った水害の被災に対し

ライオンズクラブ国際協会が見舞金を寄付

今年6月に熊本県を襲った水害の見舞金として、ライオンズクラブ国際協会熊本支部より阿蘇市に寄付をいただきました。9月29日、阿蘇市役所でライオンズクラブ国際協会熊本支部阿蘇地区代表の釣井賢氏より阿蘇市長へ見舞金を手渡されました。

いただいた見舞金は、災害対策費として活用させていただきます。ありがとうございます。



ライオンズクラブ国際協会の釣井 賢さん(中央)、井 春喜さん(右)

豪快に神楽舞う！



神楽フェスティバル&中九州ジャンボかぼちゃ大会開催



10月7・8日、道の駅波野「神楽苑」で第15回神楽フェスティバルが開催されました。2日間にわたり中江、横堀の岩戸神楽保存会をはじめ、大分県や島根県、福岡県の神楽団体など計12団体が、神秘的で豪快な舞いを披露し、観客を魅了しました。波野の子ども神楽や大分県野津原中部子ども神楽も出演。両日ともに天候もよく、約4,500人の観客で賑わいました。

また、当日は第6回中九州ジャンボかぼちゃ大会も同時に開催され、この日のために育てられた巨大なかぼちゃがずらりと陳列されました。ジャンボかぼちゃの部優勝者は後藤秋則さん(滝水)が出品されたかぼちゃで、重さはなんと105.5kgでした。そのほか、重量当てクイズやスケッチ大会が行われました。



中江岩戸神楽



横堀岩戸神楽

水環境への取り組みが評価

「水土里ネットーの宮」が全国表彰

地域と共に歩む土地改良区の実現を目指し、活動を展開中の水土里ネット。その中で特に優良な取り組みにおくられる『平成18年度21創造運動大賞』に「水土里ネットーの宮(吉田満雄理事長)」が輝きました(本年は全国約7,000団体のうち12事業所が受賞)。

「水土里ネットーの宮」は、黒川・白川河川流域の土地改良区と連携して水源涵養林を造成。また、子どもを対象に田んぼの学校(環境教育)の実施、減農薬栽培の推進などを行っています。なお、表彰式は第29回全国土地改良大会(10月10日、京都市)で行われました。



昨年度から5年間の植林計画で土地改良区の人たちの手により、一の宮町日の尾原野に5ヘクタールの「水源涵養の森」がつけられています。

正しく飼えば犬も人も幸せ

犬のしつけ教室を開催

動物愛護の一環として、10月22日、阿蘇中部獣医師会、阿蘇保健所の協力で「犬のしつけ教室」を実施しました。会場となった三久保の屋内ゲートボール場には愛犬とともに30人が集合。獣医師が「犬の病気と予防法」、T's DOG SCHOOLの坂本調教師が「正しいしつけ方」を説明し、参加者は人に迷惑をかけないマナーと、犬の気持ちを考えた正しい飼い方を学びました。阿蘇保健所の管内では、17年度の放し飼いによる犬の捕獲は220匹で、うち返還は15匹。噛み付きなどの被害もあっているようです。なお現在阿蘇市では約2,200匹の犬が飼われています。

犬の予防注射の巡回を今月行っています！詳しくは19ページをご覧ください





世界相撲選手権で3連覇

吉田勝雄選手が健闘

10月15日、大阪府堺市で開催された世界相撲選手権で、吉田勝雄選手(古神1区 23歳)が、個人中量級でなんと3年連続の優勝を飾りました。吉田選手は昨年、大学4年の時、全日本相撲選手権でアマチュア日本一となった実力の持ち主。現在は九州電力に就職。「仕事が忙しくてなかなか練習できない」と吉田さん。全日本相撲選手権の開催もいよいよ来月。仕事との両立は大変でしょうが、得意技「突き出し」で2連覇を目指してほしいですね。

地域一体で文化祭を開催

多彩な催しで中通地区賑う

第9回中通フェスティバルが10月22日、小学校で開催されました。中通公民館はじめ、区長会、婦人会、老人会、子ども会など14の組織団体が協力して開催。今年も展示部門、ステージ部門で地域の人たちが自慢の作品や歌、踊りを披露。高学年が一息懸命演技した人権劇では大きな感動を与えました。炊き込み飯やいも汁など手料理も喜ばれ、茶道でりんどう保育園児が大人にお茶を振舞い、参加者に笑顔をもたらしました。



阿蘇広域消防本部が「地域防災体験コーナー」を実施。放水体験・ロープブリッジ体験・煙内体験など。

九州の若手経営者が阿蘇市で研修

いかに時代の変革に対応できるかが生き残る鍵

700人の若手経営者が一同に会して、平成18年度九州地区商工会青年部合同研修会が10月18・19日、阿蘇体育館で盛大に開催されました。来賓には九州産業局や県の関係者、全国商工会青年部連合会会長らが出席、「中小企業は時代の変革に対応する力を」となど挨拶されました。

九州地区青年部長が堂々と誓いのことばと今大会での目的を述べ、「若い経営者の主張九州大会」では各県代表が熱弁を振るい会場を熱くしました。夕方から体育館横で野外の交流会が、また翌日は優秀青年部の事例発表、野球交流が行われ2日間の充実した大会を無事終えました。



内牧の散歩コースを満喫

阿蘇市健康ウォーキングに560人

10月15日、阿蘇市総合センターをスタート・ゴールに、子どもから80歳代の人たちが「町めぐりコース 2.5キロ」「福の神コース 4.2キロ」「はな阿蘇美コース 6.5キロ」に挑みました。日ごろの運動不足を解消したい人、親子で楽しみたい人、日ごろの健康づくりの成果を発揮したい人などさまざま。「職場の仲間に参加しました」という事業所もありました。会場では、健康相談、体力測定、骨密度測定、クイズなども実施。来年も開催の予定ですので、多くのご参加をお待ちします!



<訂正・お詫び>

先月号4ページで紹介した金婚夫婦表彰受賞者一覧で、狩尾2区の草尾今朝利さんの氏名が誤っていました。お詫びいたします。

阿蘇市の認定農業者が一つに

効率のよい経営を目指す

10月4日、旧3町村の認定農業者の会が統合し「阿蘇市認定農業者の会」が発足。その設立総会及び第1回通常総会がいこいの村で開催されました。

認定農業者とは、経営改善計画があるなど、市町村が定めた認定基準に適合した担い手農業者の皆さんです。

宮崎連絡協議会長は「今、国も認定農業者対しての期待を強めている。会の組織力を高め、あらゆる国の政策にも対応してほしい」と挨拶。県が来年4月からスタートする「農地・水・環境保全向上対策」の取り組みについて、また、JA阿蘇の丸山組合長が米流通の現状を含め挨拶し、経営の効率化と質の向上が当面の課題と訴えられました。



阿蘇ふるさとこころ杯ゲートボール大会を開催

秋空の下、185人がプレー

阿蘇市内のゲートボール愛好者が集い、10月18日、農村公園あびかで、第1回阿蘇ふるさとこころ杯ゲートボール大会(阿蘇市ゲートボール協会主催、阿蘇支部主管)が開催されました。今大会は市民の健康増進と交流を目的に始められたもので、参加者たちは大いにプレーを楽しみました。

<結果> 1位 今町3、2位 狩尾A、3位 さらしな、コート賞8チーム

カギかけ・防犯の標語を赤水駅に掲示

子どもたちの作品で啓発を図る

阿蘇西小学校区防犯推進協会(工藤幸次会長ほか16人)と阿蘇警察署は、今回初めて防犯活動の一環として、10月11日、JR赤水駅や地域内に標語を掲示し、地域あげて防犯意識を高めています。標語は阿蘇西小学校の4年以上の生徒の作品です。なお、阿蘇西校区防犯協会は結成35年の永きにわたり活動を続けておられます。

<かぎかけ日本一運動・防犯標語優秀作品>

どろぼうは	かぎなし自転車	ねらっている	4年	中野 柊作
かぎかけよう	どろぼう天国	自分はじごく	5年	村上 慶太郎
どろぼうが	きれいないえを	めざそうよ	6年	竹原 慎太郎
かぎかけた	ぼくのだいじな	宝物	6年	日田 絢斗



高さ約250cm×幅45cmの記念碑。台座には沖縄のさんご礁などが使われている。

二度と戦争を繰り返さないように

当時を偲びつつ、平和を願う記念碑建立

戦時中沖縄県から檜木野小(平成11年閉校)に学童疎開していた首里第二国民学校の卒業生が小学校跡地に記念碑を建立し、10月15日、沖縄檜木野会(宮里宏会長)の方々21人が訪れ、地元関係者の方々とともに除幕式を行いました。

当時疎開してきた児童は約70人で、昭和19年内牧に1年ほど滞り、その後7月に檜木野小に来たとのことです。今回、波野の地に感謝と友情の証としてまた、子や孫たちに再度戦争を繰り返さないよう平和の橋渡しとしてその礎となる記念碑を建てられました。

ラジオ体操優良団体表彰



オムロン阿蘇株式会社を受賞



熊本県ラジオ体操連盟(潮谷義子会長)、日本放送協会、日本郵政公社が表彰するラジオ体操優良団体に平成18年度は一の宮町に事業所のあるオムロン阿蘇株式会社(中島喜代年社長)が選ばれました。県内での受賞は2事業所です。10月24日、オムロン阿蘇(株)で阿蘇市長より表彰状および記念品の授与式が行われました。

今回の県表彰は、オムロン阿蘇(株)が今年の10月17日で創業33周年を迎え、その間、一貫して職場の健康管理増進にラジオ体操を始業前に実践(10月24日現在で7755回)した功績が称えられ今回の受賞となりました。

阿蘇の相撲選手は強い!

濱野和馬くんは全国大会へ

第19回全日本小学生相撲優勝大会九州予選会・第12回全九州わんぱく相撲大会が、9月10日、鹿児島県の吹上海浜公園相撲場で開催され、多くの阿蘇市の子どもたちが入賞しました。結果は以下のとおりです。なお、濱野和馬君(碧水小6年、阿蘇相撲愛育会所属、写真中央)は12月10日、両国国技館(東京都)で開催される第19回全日本小学校相撲優勝大会に出場します。濱野君は県内でトップの実力の持ち主で、7月に開催された第22回全国わんぱく相撲大会でもベスト8に入賞しています。全国の舞台でがんばれ濱野君!



団体戦

優勝 濱野和馬(碧水小6年)、西岡晃平(碧水小5年)、霧林拓哉(碧水小4年)
個人戦1年の部 三位 中西勇成(山田小) 個人戦6年の部 三位 濱野和馬

ボランティア活動ありがとうございました!

< 枳区・市の川組の皆さん > 清掃活動

無人駅だからこそ周辺を美しく保ち、利用者に好感と安全を提供したいと、地域の皆さんが毎月第2日曜日、刈り払い機などを使い、JR市の川駅周辺の除草作業や清掃に汗を流されています。この作業は10年前から続けられています。

枳区では駅の清掃ほか、天満宮、水辺公園、堤、公民館などでも毎月清掃を行い、美しい環境づくりに取り組まれています。



市の川駅

< 阿蘇一の宮ライオンズクラブの皆さん >

薬物乱用防止呼びかけ

阿蘇一の宮ライオンズクラブ(甲斐誠一会長ほか20人)は、阿蘇保健所、阿蘇警察署、防犯協会と共同で、10月6日、一の宮中、波野中の正門前で登校する生徒たちにチラシを配り、薬物乱用防止を訴え、青少年健全育成を図られました。



一の宮ライオンズクラブ

< 阿蘇ライオンズクラブの皆さん >

子どもたちを芋ほりに招待

阿蘇ライオンズクラブ(梅井六男会長ほか40人)は、毎年、会員の荒木喬さんの畑(西町)に、子どもたちや福祉施設入所者を招待し、秋の収穫の喜びを体験してもらっています。今年で15年目です。10月13日は阿蘇中央幼稚園の年長組50人を招待。収穫した芋は、養護老人ホームなどにも配られました。



阿蘇ライオンズクラブ

国民体育大会で準優勝！

バスケットの中島さん、阿蘇高校女子剣道部

先月、兵庫県で開催された第61回国民体育大会で、次の方々が準優勝という好成績を収められましたのでご紹介します。

バスケットボール・成年女子 中島雪枝さん(鶴屋百貨店所属)

結果 決勝 山形県83 - 73 熊本県

剣道・少年女子 桑野千佳さん、西岡稚菜さん、
堀野菜穂子さん、笥恵里佳さん

結果 決勝 大阪府3 - 2 熊本県(阿蘇高校)



中島雪枝さん(21歳 乙姫)

国体出場は今回で6回目という名選手。

阿蘇中時代から始め、熊本商業高校でもキャプテンとして活躍。現在は、全国実業団選手権で優勝の実力誇る「鶴屋百貨店」でフォワードとしてチームに貢献。身長167センチ。得意はスピードプレー



的^た石の名水で点てたお茶を味わいながら

秋の夜「観月」楽しむ

第11回阿蘇観月茶会(実行委員会主催)が、10月7日、農村環境改善センターで催され、多くの市民や観光客が名月のもと風雅なひとときを楽しみました。地元の茶道家の皆さんが参勤交代御茶屋跡(的石)に湧く名水でお茶を点て、美しい作法で接待すると、「心が安らぎます」と来場者に喜ばれました。また、秋を特集した短歌・俳句のコーナー、「アンサンブル・クレス」による弦楽ミニコンサートも会を華やかに演出しました。

波野小学校でオーケストラ60人が演奏

生の演奏に全員が感動！

子どもに優れた芸術を提供し、豊かな情操と芸術を愛する心を育てようと文化庁が実施している「本物の舞台芸術事業」(音楽の部)が波野小・中学校で開催され、10月3日、関西フィルハーモニー管弦楽団が学校を訪れました。

生の演奏を楽しみにしていた子どもたちも、60人を超える予想以上の大きなオーケストラには驚き、ベートーベンなど本格的なクラシック名曲が次々に演奏されると、感激した様子で聞き入っていました。楽器や音楽の話もあり2時間の音楽会はずばらし体験になりました。



指揮者体験のコーナーに挑戦した古澤佳恵くん(2年)

平和な国を願って

戦没者の方々に追悼の意を表す

10月13日、阿蘇体育館で阿蘇市戦没者追悼式が厳かに行われました。佐藤市長が「これまでの犠牲、学び得た戦争の悲惨さ、たくさんの尊い教訓を、これからの社会を担う若者や子供たちに、繰り返し語り継ぐ努力を重ねていきたい。」と追悼の言葉を述べ、花を捧げました。その後、遺族や関係者が故人を偲んで花を捧げました。

